

大船渡湾内観測結果(No.1)

“今月の話題”

湾内の水温は8～9℃台であり、例年よりも2℃ほど高くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、湾内全域で先月よりも低下しましたが、水深10m付近では表層と比べて高い状況でした。

4月17日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

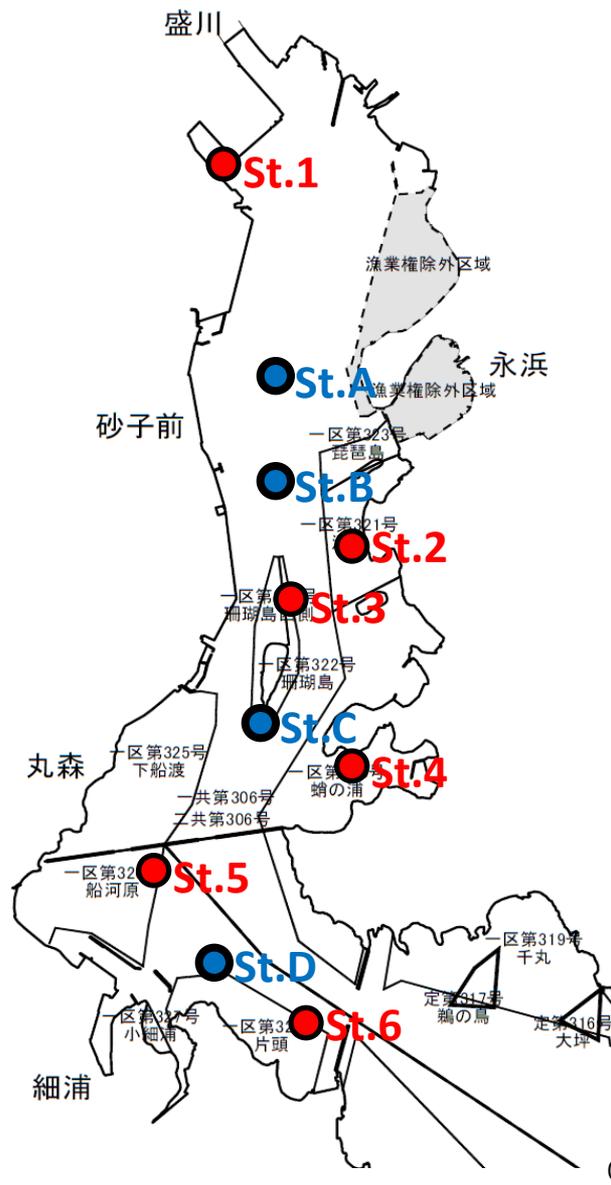
透明度は7.0～9.0mであり、平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、-1.1～+2.7mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが9.6～9.8℃、水深10mが8.8～9.2℃でした。平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、水深2.5mが+1.7～+2.0℃、水深10mが+2.1～+2.5℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年4月17日					
観測時刻		11:40	11:59	11:19	11:04	10:50	10:32
天候		晴					
気温(°C)		12.6					
風向		SE					
風力		1					
水深(m)		7.9	23.6	27.6	18.5	24.2	36.5
透明度(m)		7.0	8.5	9.0	7.5	7.0	7.0
水色		7	6	5	5	6	6
水温(°C)	表層0m	11.2	10.1	9.9	9.7	9.5	9.6
	水深2.5m	9.7	9.7	9.6	9.8	9.7	9.6
	水深10m	-	8.9	8.8	9.1	8.9	9.2
	海底上1m	9.1	8.4	8.3	8.7	8.7	8.7
塩分	表層0m	23.4	29.8	29.9	30.3	30.3	31.0
	水深2.5m	32.9	32.9	33.0	33.0	32.7	32.4
	水深10m	-	33.8	33.7	33.8	33.8	33.8
	海底上1m	33.7	33.9	33.8	33.9	33.9	34.0
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	106.4	111.5	112.3	110.2	109.7	111.4
	水深2.5m	111.5	117.1	115.9	121.3	114.8	113.5
	水深10m	-	106.5	108.9	118.8	102.1	100.0
	海底上1m	104.7	78.0	74.0	94.8	83.2	85.2
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	水深2.5m	0.5	0.4	0.4	0.7	0.7	0.8
	水深10m	-	2.3	1.1	3.3	2.8	2.1
	海底上1m	0.5	0.7	0.7	1.1	0.8	0.5



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

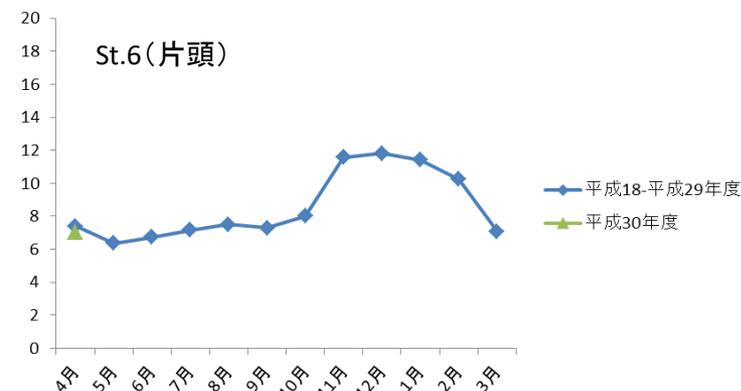
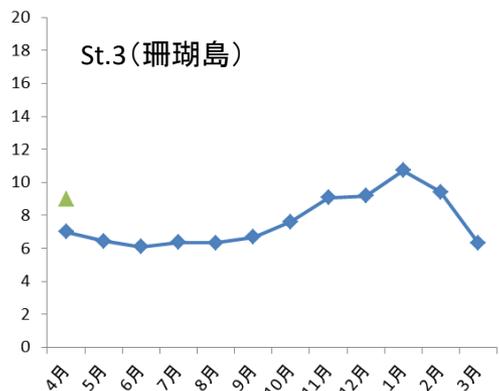
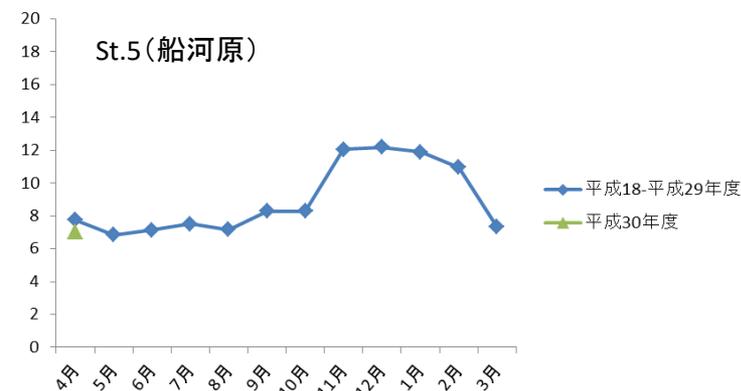
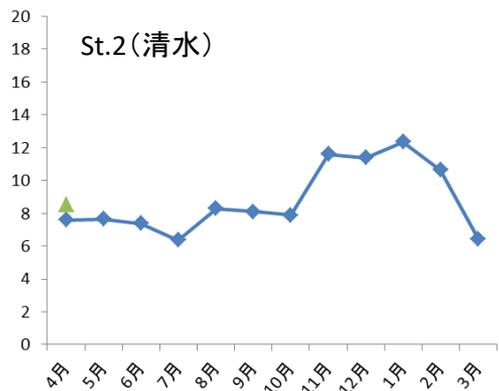
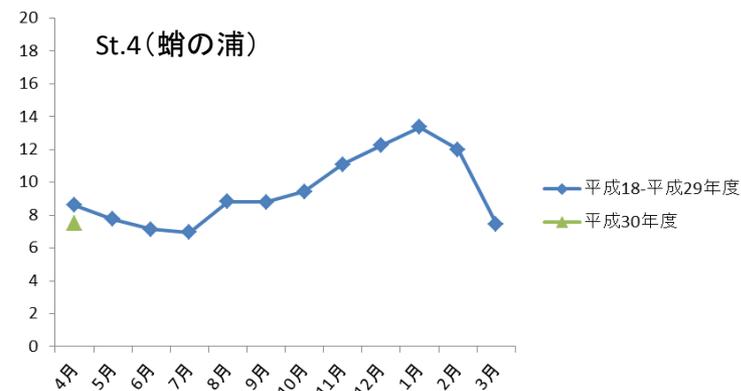
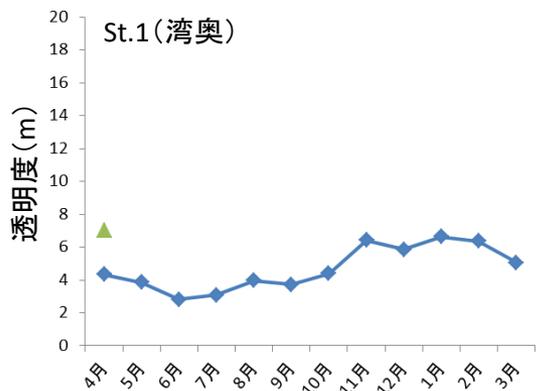


図2 透明度の推移

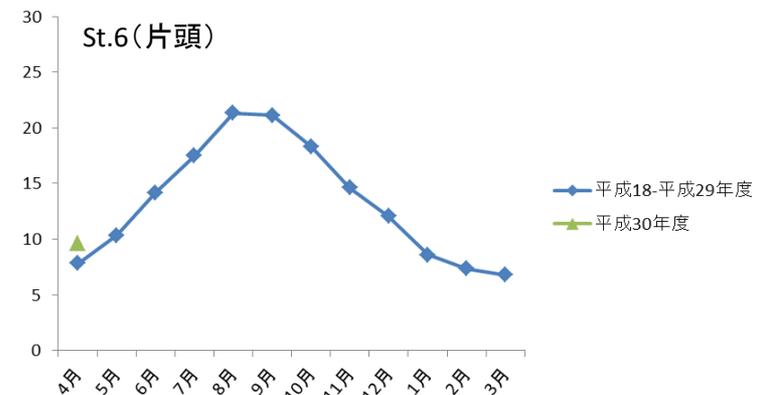
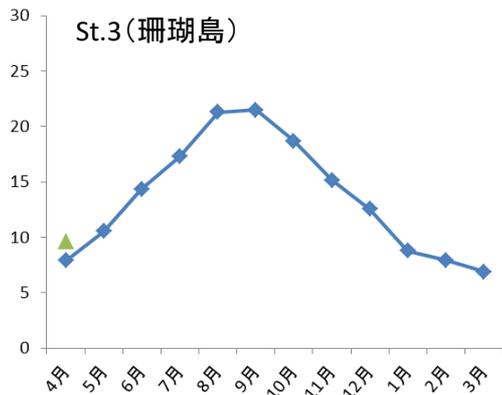
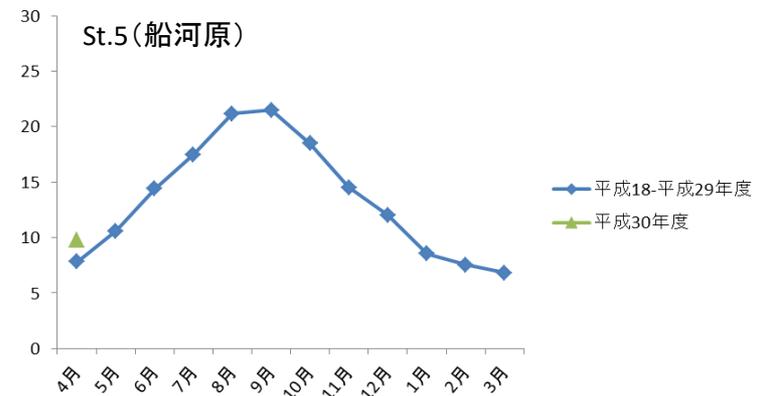
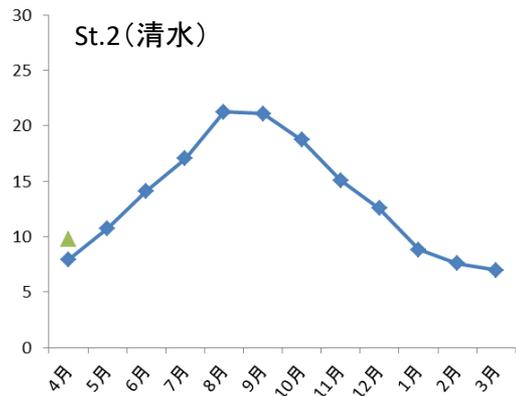
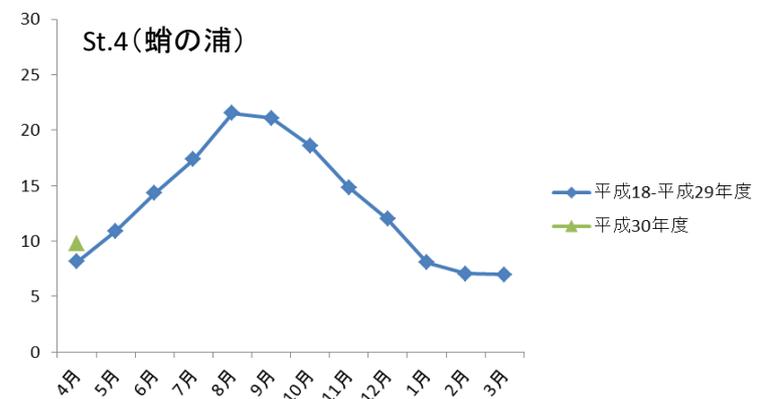
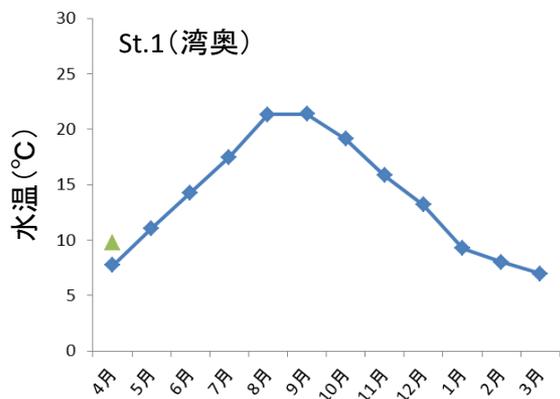


図3 水深2.5mの水温の推移

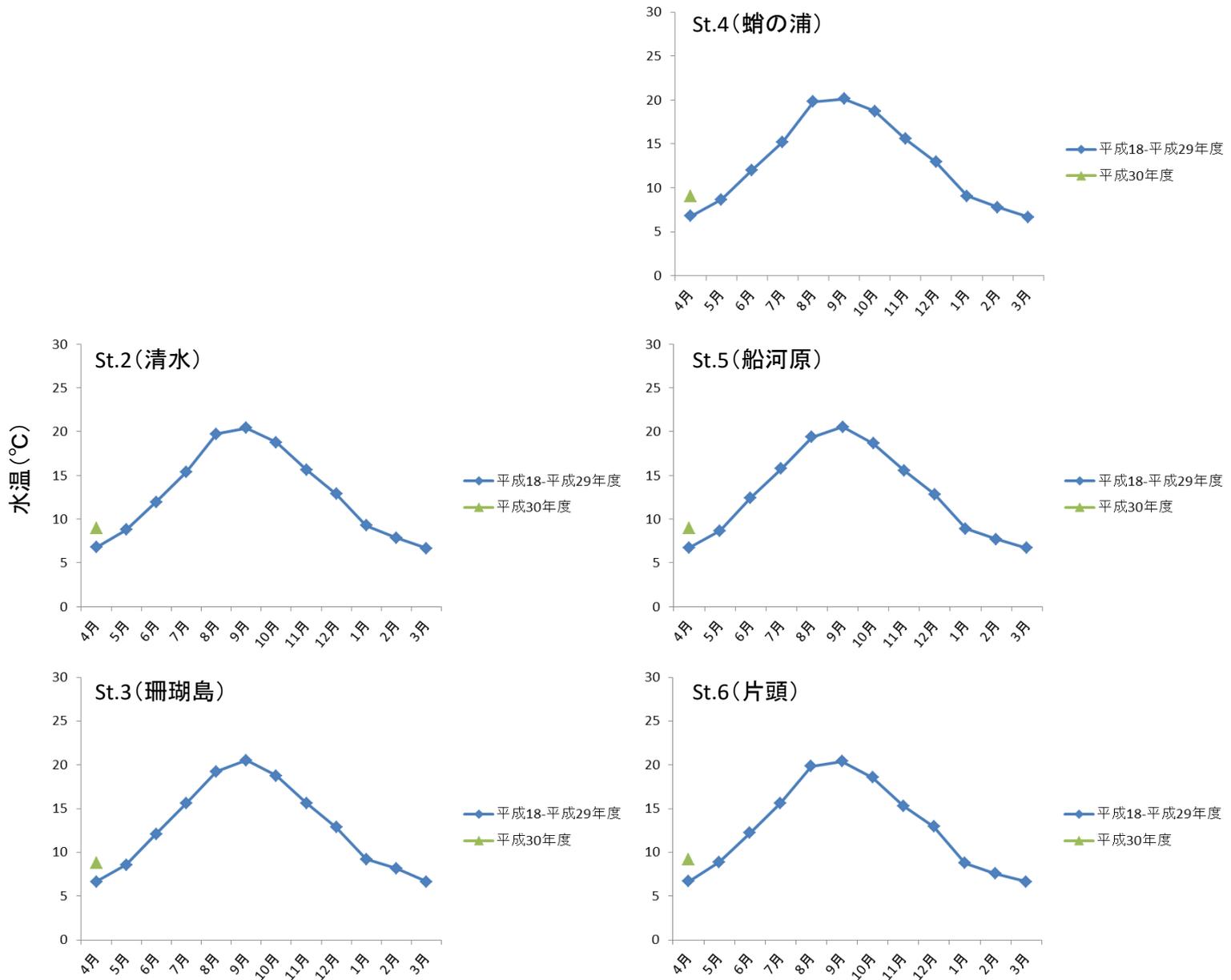


図4 水深10mの水温の推移

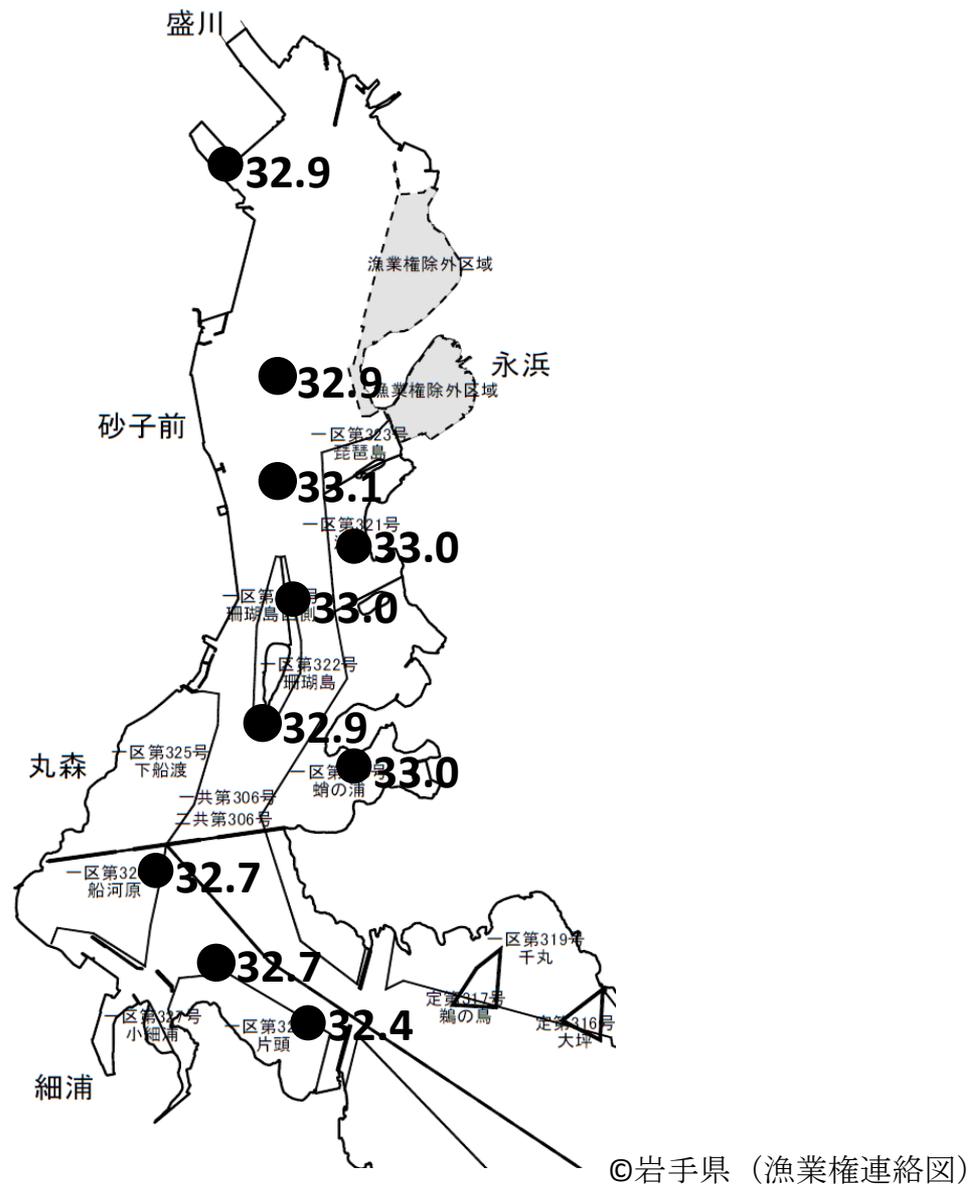


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

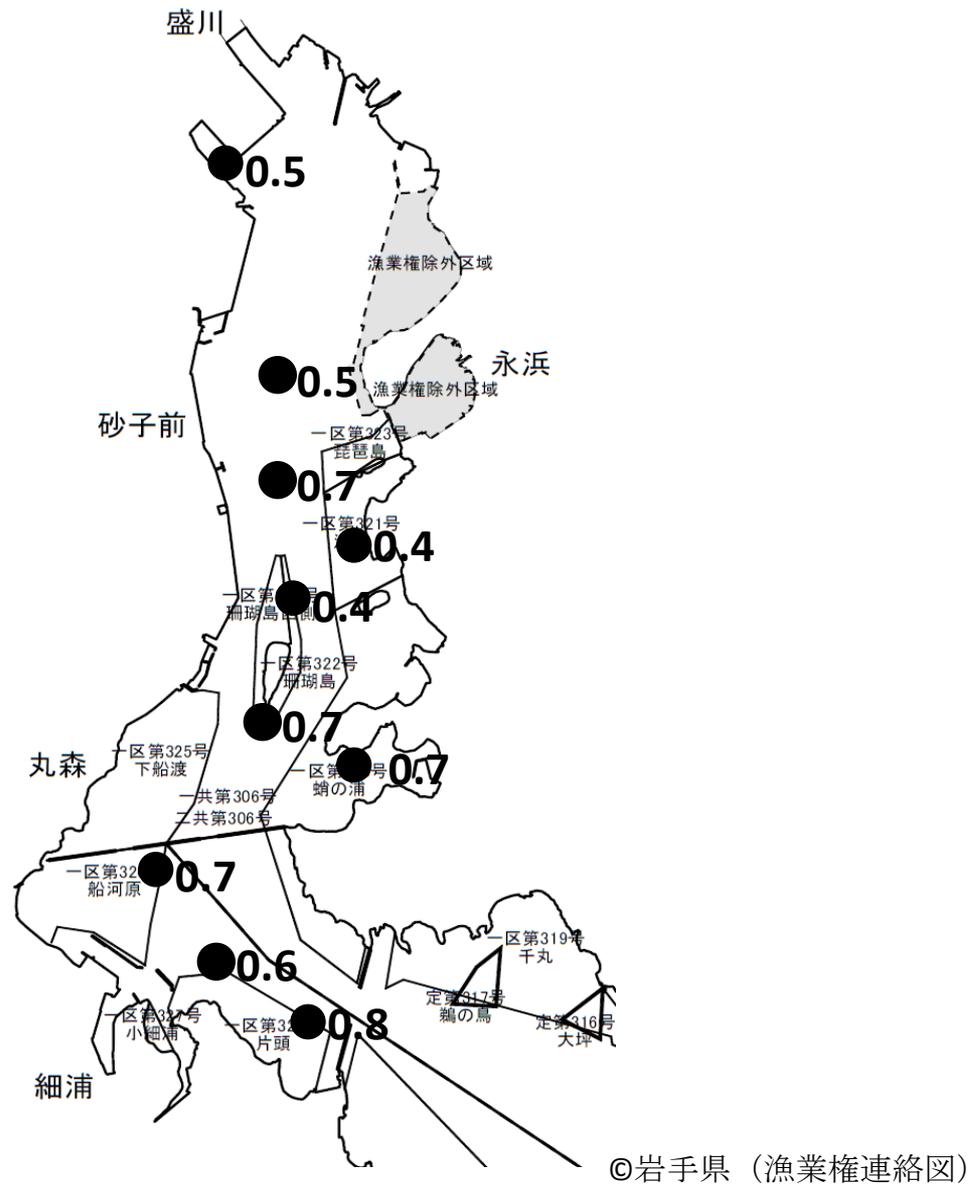


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。